

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	4	課題区分	C	令和8年(2026年)4月2日
横断的な課題	伝統を守り未来を見据えた持続可能な地域づくり					南信州地域振興局
地域重点政策	伝統を守り未来を見据えた持続可能な地域づくり					
実施機関	南信州地域振興局					
事業名	南信州民俗芸能継承推進事業	担当課	所属	リニア活用・企画振興課		
			電話	0265-53-0401		
			E-mail	minamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要	目的 (目指す姿)	・大阪万博出演を契機とした新たな地域内支援者の獲得と、地域外支援者(ファンクラブ会員等)の獲得 ・民俗芸能をきっかけとした南信州の魅力発信 ・新たな資金源としてのクラウドファンディングの実施 ・南信州民俗芸能パートナー企業制度(以下、パートナー企業制度)による、実質的な支援を行う企業の増加やより多様な支援の発掘(新たなマッチング) ・地域内外へのパートナー企業制度についての認知向上				
	現状と課題	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none">南信州地域は多様な民俗芸能が各地で伝承され「民俗芸能の宝庫」と呼ばれている。しかし、社会意識や生活環境の変化や少子高齢化により存続の危機にある芸能も多く存在する。南信州民俗芸能継承団体、市町村、広域連合、県により組織される南信州民俗芸能継承推進協議会(以下、協議会)は設立10年を超え、上演機会の創出や「南信州民俗芸能ファンクラブ」の運営等による情報発信等、南信州民俗芸能の保存継承に向けた活動を行ってきた。令和7年度には7月に大阪万博にて上演が決定している。また、県では民俗芸能の保存継承にむけ、平成28年度から「パートナー企業制度」を開始。企業の民俗芸能団体に対する支援は多様化し増加傾向にある。パートナー企業制度は民俗芸能保存継承に関する先駆的な取組として、R6には新聞(朝日新聞、日経新聞)に紹介され、他県からも問い合わせがあり、注目を集めている。パートナー企業への登録団体数は106企業に及ぶ。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none">地域の少子化により地域内で行う民俗芸能継承活動には限界があり、地域外にも支援を求めていく必要がある。関係人口の開拓のために、民俗芸能に関する情報発信と併せて地域の情報を発信する必要がある。協議会は自己財源が乏しく、パートナー企業による寄付金の他、今後の事業実施(継続)に向けて新たな財源を開拓する必要がある。パートナー企業である会社・団体であっても、職員や団体員による民俗芸能やパートナー企業制度の認知は低い。パートナー企業制度に登録したものの、支援を行っていない企業が5割程度であり、それらの企業に支援を促す必要がある。企業の社会貢献活動を周知できる媒体が少ない。(現行では局HPでの企業名掲載、局Instagramでのボランティア活動の掲載、南信州民俗芸能継承推進協議会開催イベントでの広告表示のみ)				
	内容 (変更後の内容)	<p>①関係人口創出に向けた民俗芸能及び地域紹介の実施 協議会と連携しながら、地域外(大阪万博等)にて南信州民俗芸能に関する情報発信とともに、地域紹介や移住関連情報の発信も行う。(大阪万博当日の広報内容については協議会や民俗芸能団体と検討中。) 大阪万博への出展を契機とした情報発信を強化するため、民俗芸能団体の協力を得ながらラジオ番組「峰竜太とみんなの信州」(文化放送)へ出演し広報を行う。 地域での民俗芸能の発信としてキャラクターグッズの作成を行った。 また、地域振興局で小型カメラを購入し、数多くある行事や民俗芸能を取材して、民俗芸能団体や協議会と連携して情報発信を行った。 ※カメラは地域振興局で運用し、動画での発信に広く活用した(例:狩猟者研修、竹林整備照会等)</p> <p>※ 大阪万博への出演:7月初旬 ラジオ番組への出演:6月12日</p> <p>②長野県みらいベースを活用したクラウドファンディングの検討 協議会の新たな財源確保のために、クラウドファンディングの実施を支援する。 地域内企業及び地域外(大阪事務所、名古屋事務所、東京事務所(銀座NAGANO)等)にて、大阪万博出演及びクラウドファンディングに関する周知活動を実施する。また、クラウドファンディングの広報のために、新聞等への広報を行う。 期間:検討中</p> <p>③南信州民俗芸能パートナー企業登録式、協定締結式の開催 新規パートナー企業の登録式、協定締結式を開催。登録証の交付を行う。 時期:未定</p> <p>④パネル巡回(継続) パートナー企業店舗でのパネル巡回展を継続。昨年度協力企業に加え、新たな企業店舗でも展示を実施する。 時期:随時</p>				
事業期間	令和7年4月 ~ 令和8年3月					

(単位:円)					
事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考	
	①関係人口創出に向けた民俗芸能及び地域紹介の実施	関西・大阪万博での情報発信 地域内での民俗芸能の情報発信	369,204	職員旅費：143,390円 交通費：33,732円 広報物品：85,000円 広告費：79,200円 郵送料：6,776円 複写機：21,106円	
	①関係人口創出に向けた民俗芸能及び地域紹介の実施	ラジオ番組での情報発信	30,883	職員旅費・交通費：30,883円	
	①関係人口創出に向けた民俗芸能及び地域紹介の実施	動画撮影(制作)による情報発信	98,881	撮影備品：98,881円	
合 計			498,968		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	ファンクラブ会員数の増		20人増	16名増	未達成
	クラウドファンディングによる資金支援の獲得		600,000円	0円	
	パートナー企業による新たな支援の増		5件	4件	
	新規パートナー企業登録数		5社	3社	
事業実績・成果	①関係人口創出に向けた民俗芸能及び地域紹介の実施 ・動画撮影における情報発信を行い、協議会や地域振興局のSNS発信を行うことができ、フォロワーの数も増加した。 ・情報発信は行ったものの、ファンクラブ入会への直接的な導線が弱く、会員数増加目標には達成できなかった。 ②長野県みらいベースを活用したクラウドファンディングの検討 ・7月13日開催の大阪・関西万博を見据えたクラウドファンディングの実施を検討していたがスケジュール上の都合や協議会内での合意が取れなかったことから今年度の実施を見送った。 ③南信州民俗芸能パートナー企業登録式、協定締結式の開催 ・新規パートナー企業数は目標に到達することはできなかったが、登録希望の企業が3社集まり、協定締結・登録証交付式を開催することができた。 ・パートナー企業による支援については、どういった支援があるのか分からないという声があり、支援のメニュー化や周知が今後の課題として得られた。				
	今後の方向性	・クラウドファンディングを含め、協議会内の新たな財源確保に向けた取り組みを引き続き検討してまいりたい。 ・ファンクラブ・パートナー企業の両制度を活用しながら各地の民俗芸能の発信を行い、地域内外の方たちへの周知や魅力発信を引き続き行ってまいりたい。 ・パートナー企業の具体的支援方法などを定めながら、企業への積極的な周知を行っていききたい ・パネルや動画などのコンテンツを増やしていき、パートナー企業のサポートのお願いを周知するとともにコンテンツを活用した各企業の施設や市町村施設での情報発信を行っていききたい。 ・パートナー企業による支援の事例共有を図りながら、支援数増につなげていきたい。			